

●季語「**雑煮**」「**雑煮餅**」

おかわりを孫娘に所望す雑煮餅 MR

蘇る雑煮の味に母の笑み KT
雑煮食べふと思うのはガザキーウ IK

餡入りの雑煮を食し幼き日 US
我八十路椀に一つの雑煮餅 SM

白味噌の多彩雑煮や里の味 MY
われやそじ はば まめそうに AS

雑煮盛り以後の厨房全放棄 HY
われやそじ おせんぬ はば AS

御膳塗り亡母を偲んで豆雑煮 AS
おせんぬ まめそうに AS

せめてもの雑煮ざめたり独居なり KN
せめてもの まめぞうに AT

熊毛でも白味噌澄ましの順に落ち着きし
三椀の雑煮かゆるや長者ぶり 蕪村

父の座に父居るごとく雑煮椀 角川春構

●季語「今**の季節**で**お好き**な**言葉**」

孫帰り廻揚げ遊ぶ寒風の空 KBY
孫帰り廻揚げ遊ぶ寒風の空 KBY

遙かなる凍土に悼む戦やまず KN
遙かなる凍土に悼む戦やまず KN

初詣おみくじ「吉」にほぐそ笑む KT
初詣おみくじ「吉」にほぐそ笑む KT

年の瀬に蕎麦挽く音の軽やかさ AS
年の瀬に蕎麦挽く音の軽やかさ AS

心底に焰残りて除夜の鐘 US
心底に焰残りて除夜の鐘 US

初詣おみくじ「吉」にほぐそ笑む KT
初詣おみくじ「吉」にほぐそ笑む KT

生ゴミを美味いトマトへ冬仕込み HY
生ゴミを美味いトマトへ冬仕込み HY

年賀状届かぬ訳を推し量り IK
年賀状届かぬ訳を推し量り IK

何時発つや一直線に冬鳴 SM
何時発つや一直線に冬鳴 SM

スマホ切り三ツ星くつきり視力よし AT
スマホ切り三ツ星くつきり視力よし AT

初打ちや陽にきらめいて霜柱 MR
初打ちや陽にきらめいて霜柱 MR

粥草や葛飾舟の朝みどり 蕪村
粥草や葛飾舟の朝みどり 蕪村

京都にパリにも踏まれて咲く堇 AT
京都にパリにも踏まれて咲く堇 AT

年ごとの日記に記す桜陰 SM
年ごとの日記に記す桜陰 SM

寒餅をつきし日生まれ早や傘寿 MY
寒餅をつきし日生まれ早や傘寿 MY

終活と遊活半々冬日向 HY
終活と遊活半々冬日向 HY

靴音にカサコソ響く枯れもみじ IK
靴音にカサコソ響く枯れもみじ IK

雪舞の曇りガラスに「恋」と書く US
雪舞の曇りガラスに「恋」と書く US

夕焼けを背にしてそよぐ芹田かな AS
夕焼けを背にしてそよぐ芹田かな AS

本・パン・服の店見つけたり暮の秋 KN
本・パン・服の店見つけたり暮の秋 KN

秋深し思いを馳せる来世へと MR
秋深し思いを馳せる来世へと MR

近代史読み直したる松の内 KBY
近代史読み直したる松の内 KBY

大谷の鼓舞する姿「あっぱれと」 KT
大谷の鼓舞する姿「あっぱれと」 KT

物言えば唇寒し秋の風 芭蕉
物言えば唇寒し秋の風 芭蕉

*注意

青色は最優秀、海老茶色は準優秀です。